

# 南三陸 復興まちづくり通信

第79号（令和3年1月発行）



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。

## 令和2年度 復興庁「新しい東北」復興・創生顕彰 一般社団法人 復興みなさん会が選ばれる！

復興庁は12月25日付で、「新しい東北」復興・創生顕彰の選定結果を発表しました。原状復帰にとどまらない、より魅力的な「新しい東北」の創造に向け、人口減少や産業空洞化、コミュニティの衰退といった被災地で顕著な課題を克服するための取り組みに貢献している個人・団体に光を当てることにより、その活動を広く発信しようとするものです。

今回、自薦・他薦による応募149件の中から11件が選定され、他薦により審査対象となっていた、南三陸町の復興みなさん会（後藤一磨代表理事）が復興・創生顕彰に輝きました。

復興みなさん会の今回の受章は、平成30年2月の「S（支え合い）-1 グランプリいがす大賞」受賞、同年8月の復興大臣よりの「感謝状」授与に続く3度目の栄誉となりました。

顕彰式は2月22日（月）に仙台サンプラザで開かれる「新しい東北」交流会席上で行われます。

## 伊里前国道45号が迂回路から新ルートに切り替え

震災で被災し、復旧工事が進められている歌津伊里前地区の国道45号は、伊里前復興まちづくり事業などとの調整を図りながら整備を進めるため、交通を迂回させていましたが、12月16日に新しい道路に切り替わりました。暫定開通区間は「ハマレー歌津」から三嶋神社の北側を通り、管の浜地内のハーレー自動車钣金付近までの約600mです。歩道や側溝の整備、既存の町道への接道などの工事が今年度内の完成を目指して続けられる予定です。



## 山元町「つばめの杜公園管理会」が来町 意見交換会

山元町「つばめの杜中央公園管理会」の会員ら16人が11月6日に来町し、復興みなさん会会員と交流しました。みなさん会の事務所で南三陸町の被災状況や復興計画、みなさん会の活動状況、復興祈念公園の概要などについて説明があった後、公園管理のあり方や共通の課題について意見を交わしました。その後、中橋を渡り、みなさん会のガイドで震災復興祈念公園を視察。祈りの丘や旧防災対策庁舎（＝写真）、みらいの森、語り継ぎの広場などを見学しました。

## 戸倉復興公営住宅で「椿のお話し会」

戸倉復興公営住宅の集会所で11月9日、復興みなさん会主催の「椿はな咲くまちづくりお話し会」が開かれ、入居者など15人が参加しました。みなさん会のメンバーが、ドローンで撮影された写真を使って10月に全体開園した南三陸町復興祈念公園の概要を説明しました。意見交換の中ではモアイバスで祈念公園内を訪れてみたいとの声が上がりました。検温や手指の消毒、マスクを着用し密を避けるなど、コロナ対策をしながらの交流会でした。



## 高台団地で「なつかしい昭和 昔を語る会」開催

NPO法人20世紀アーカイブ仙台が主催する「なつかしい昭和 昔を語る会」が11月10日、みねはた団地集会所で開催され、歌津地区の住民約20人が参加しました。第1部では、昭和30年代の集団就職のニュース映像や、懐かしい昔の暮らしを紹介する写真などを鑑賞。第2部では、「きぼうの会」のメンバー6人が「名月赤城山」「関の彌太ッペ」「天竜三度笠」などの股旅舞踊12曲を披露。来場者から盛大な拍手が送られました。

検温や手指の消毒、マスク着用が徹底されました。



## 「歌津地区支援の会一燈」がネットワーク会議

歌津地区でコミュニティ支援活動を行っている「復興支援の会一燈」（小野寺寛会長）の第2回ネットワーク会議が10月21日に開催され、区長、契約会長、小・中学校長ら21人が出席しました。協議の中で、①ハマーレ商店街前広場の整備は国道迂回路撤去後の新年度に造成工事着手、②港地区の国道45号は今年度末完成の見通し、③同駅前広場の整備は4年度完成、④地区内8カ所の防潮堤工事の進捗率は約6割であることなどが報告されました。



### 【あしがき】

あれから十度目の正月を迎える。今年はどうな正月になるだろう。きつと淋しい正月になりそうだ。新型コロナウイルスの感染は寒さに向かって増えてきている。おせち料理も宅配で、元朝参りはリモートで済ます人が多いようだ。東京からの帰省客も少ないだろう。時間も空間も空いたままで、懐中も淋しい。

こんな時は海や山に出掛けるのが良いように思う。初日の出を拝みながらこれからの私たちの歩む先を考えてみてはどうだろう。人生百年時代を迎えたといっても、この十年に経験した事は大きい。震災とコロナの二つの災害から何を学んだのか？大きな体験だったからこそ、この先に見ようとする想いも深い。  
明るい新年を御来光に祈りたい。

当会は、中日新聞社会事業団東日本復興支援金、県共募みやぎチャレンジプロジェクト、仙台銀行まちづくり基金、みやぎ地域復興支援助成金、おらほのまちづくり支援事業および東日本大震災現地NPO 応援基金[緊急助成]のご支援をいただき活動しています。

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)